

愛川町の取組



愛川町全体で推進する小中一貫教育の中で、同じ中学校区の小・中学校3校が共通の目標「自立・協働 ～たくましく生きぬく力を持つ子～」を掲げ、「学力向上」「交流連携」「児童・生徒支援」という共通の3つの視点をもって、「授業改善」や「教員交流指導」を推進しながら、学びの確かな継続のための取組を行う。

授業改善については、「学習中の言語活動を通して思考力・判断力・表現力などを育む」ための校内研究を各校で推進しながら、相互の校内研究に参加し、参観・協議を行うとともに、小中合同研修会・講演会を設けることで、小中のつながりを大切にしながら授業の充実を図る。

半原小学校

研究テーマ

「すべての児童が楽しく学べる学校」

【研究の内容】

インクルーシブな学校づくりを主眼に、すべての児童が主体的・対話的で深い学びに楽しく取り組めることを目的とした。

そのための手段のひとつとして、ICTを活用した学習指導も取り入れた。

【成果】

コロナ禍において「対話」や「発表」といった児童相互交流の学び合いが難しくなったが、その分、タブレット端末を活用した発表や交流を試みることができた。

機器の管理や充電、情報モラルなど、様々なことが心配されたが、すべて想定範囲内で実践することができた。「まずやってみよう」という雰囲気の中、挑戦的に取り組み、かつ事後の反省の共有化なども行うことができた。

インクルーシブ教育については校内研究として取り組み、蓑手章吾先生を講師に招き、その概念から丁寧に共通理解を図り、児童個々の技能や意欲に即した「自由進度学習」等の研修にも取り組むことができた。



愛川中学校

研究テーマ

「つなぐ・つながる」

1. 生徒の知識がつながる授業
2. 授業の中で生徒同士がつながっていく授業
3. 授業と評価をつなげていく授業
4. 授業と家庭学習をつなげる授業
5. 学年・校種・教科間をつなげていく授業～

【研究の内容】

- ・授業研究を基盤とした授業改善
- ・校内研便りの発行
- ・教員相互の授業を見合うことでの授業改善の推進

【成果】

教科を混ぜたグループによる指導案検討を行うことで、様々な視点や考えをもつことができた。また、横浜国立大学教育学部附属鎌倉中学校の先生方からの評価を含めた話を聴くことで、共通理解を図りながら、授業力の向上に努めることができた。

加えて、ICTを取り入れた授業を推進し、その取組を定期的に発信することも授業力向上につながった。

田代小学校

研究テーマ

「表現する力を育てる算数科の授業づくり」

【研究の内容】

算数科における「表現」とは何かを全職員で共通理解を図り、低中高学年・学習室部会に分かれてサブテーマを設定し、全ての学級（すべての学年が単級）で授業を開き、全職員で全児童をみとりながら研究に取り組んだ。

サブテーマ 低学年「表現力のスタート」 中学年「シンプルな数学的表現へ」
高学年「多様な表現を取捨選択、よりよい解決を求めて」
学習室「学ぶ楽しさを味わい、目的に合った表現方法を知ろう」

【成果】

校内研修会では、横浜国立大学の白井達夫先生、両角達男先生から「算数科で表現を大切にする意味」や「言葉をつむぐ重要性」などについて学ぶことができた。

また、学習指導要領における「数学的に表現すること」とは、言葉、図、数、式、表、グラフを活用することであると意識し、授業に取り組むことができた。そして「数学的に伝え合うこと」に対する認識を深め、授業で実践することができた。